

建築学会 鋼構造設計規準

$F=2.4 \text{ t/cm}^2$

* 2×10^{-6} 以下では 超の約1.5倍になっている

* 溶接(並)の場合は疲労限度及び最大値とも $\times 0.9$ とする

—— 2×10^{-6} 超
- - - 2×10^{-6} 以下

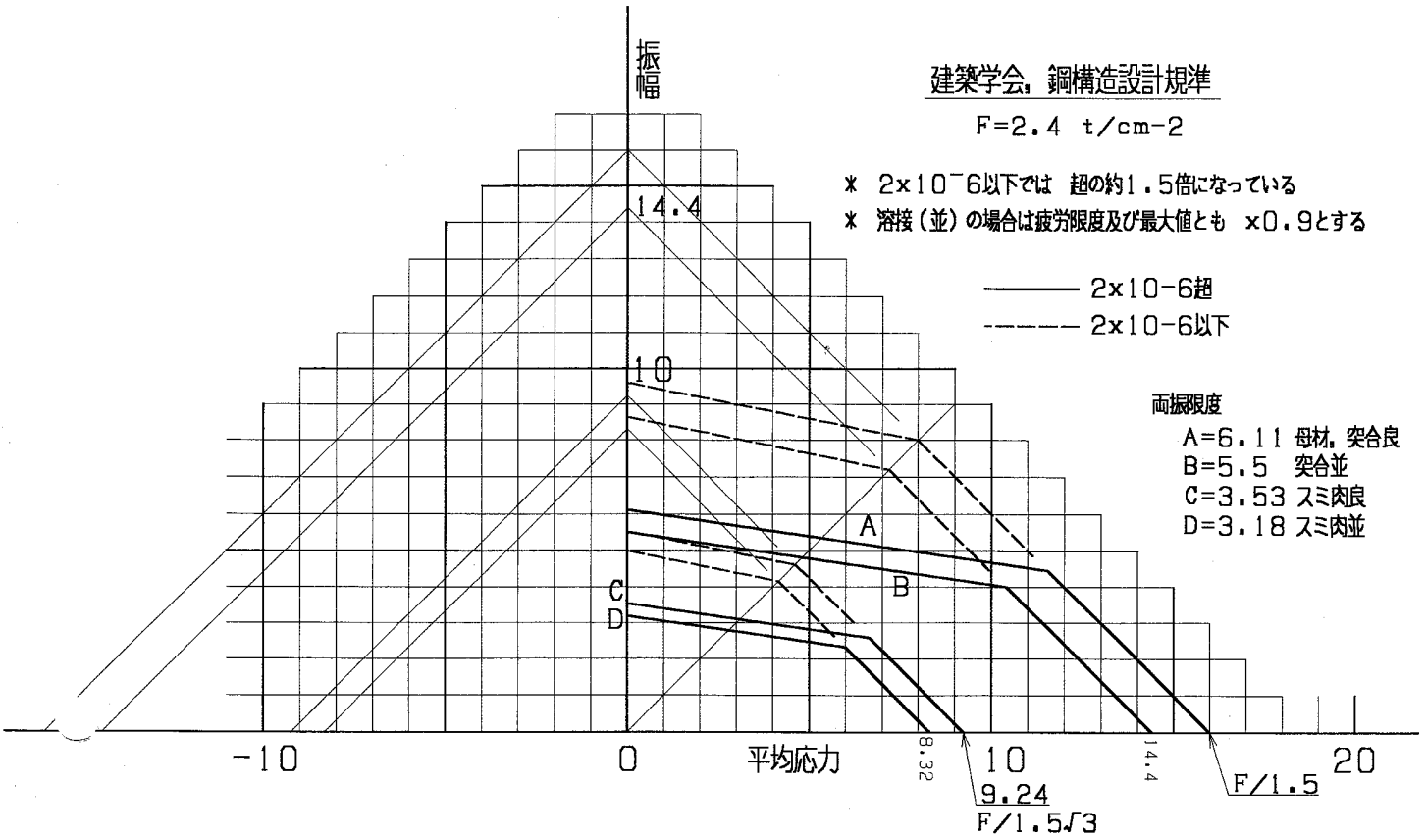
両振限度

A=6.11 母材, 突合良

B=5.5 突合並

C=3.53 スミ肉良

D=3.18 スミ肉並



鉄道車両台車

—— JIS E4207 鉄道車両台車

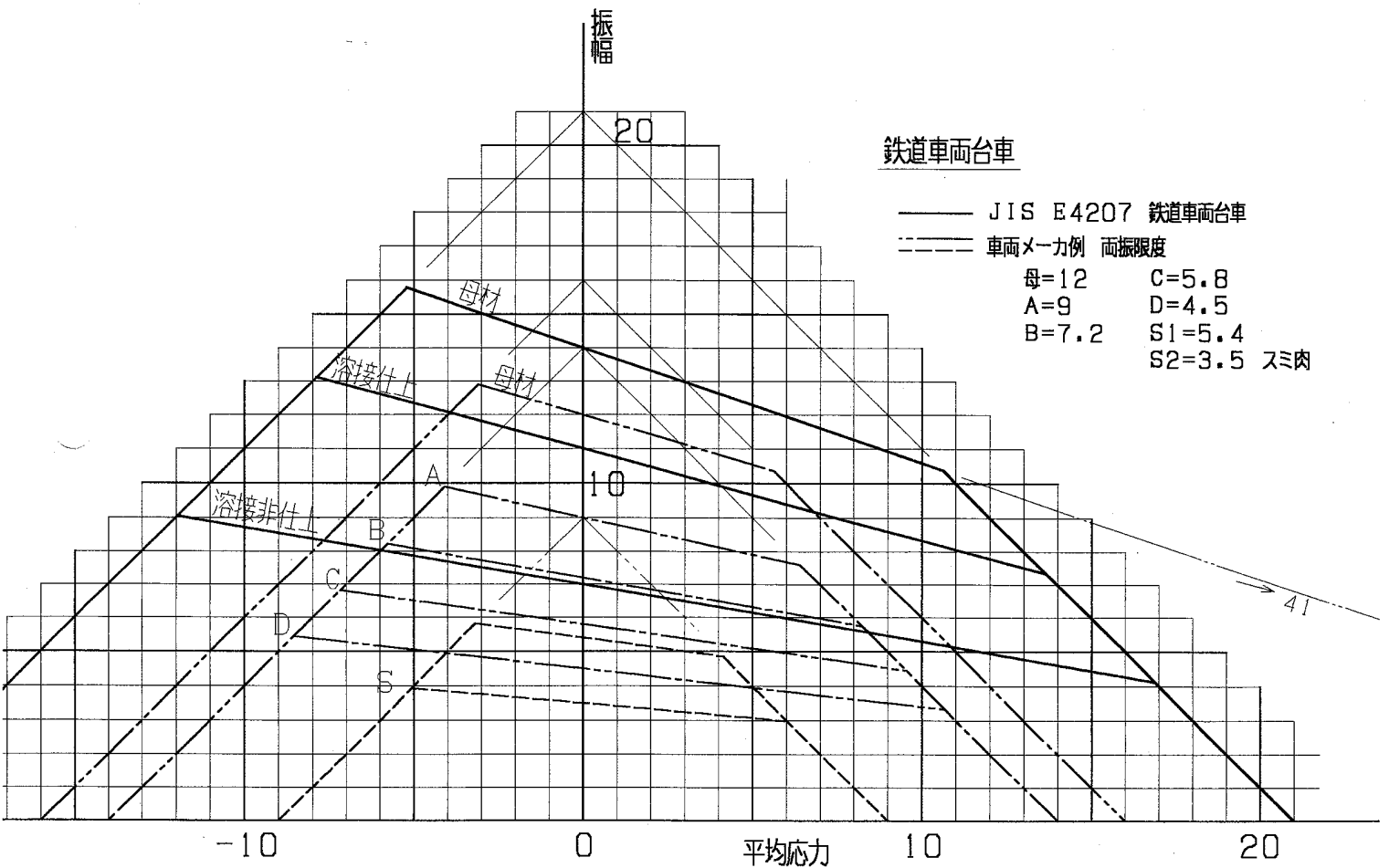
- - - 車両メーカー例 両振限度

母=12 C=5.8

A=9 D=4.5

B=7.2 S1=5.4

S2=3.5 スミ肉



単位=kgf/mm²

(3) 41KG級
疲労限度線図